

平成30年度再評価対象事業
(対象：平成25年度再評価実施事業)

(再評価実施後、一定期間(5年)が経過した時点で継続中の事業又は未着工の事業)

番号	項目	事業名 (路・河川名等)	事業目的	事業概要	事業の進捗状況	事業を巡る社会経済情勢等の変化	費用対効果の要因の変化	コスト縮減や代替案等の可能性	再評価理由	対応方針 (事業継続)
	再評価時点 H25	佐志川河川整備交付金事業(総合流域防災事業)	流路是正、狭窄部解消を行い、治水安全度を向上し、流域の浸水被害の軽減を図る。 ・計画流量 150m ³ /s ・計画治水安全度 1/30	全体事業費：C=48億円 工期：S58～H33 改修延長：L=2,900m 事業内容：掘削・築堤護岸、樋管14基、橋梁6基、堰2基	弥右エ門橋下流は、河床掘削を残して改修が完了している。 現在、弥右エ門橋上流及び駄地橋付近の暫定改修を実施。 佐志橋他3基完成 (H24末進捗率 76%) (年平均進捗率 2.5%)	(過去の災害実績) S60.6 浸水戸数 189戸 浸水面積 20ha (地域の状況) 国道204号佐志バイパスが完成し、供用を開始している。 佐志橋から汐入橋間の左岸流域において商業施設やアパートの建設が行われている。	最新のマニュアルに基づき、費用対効果を算出した。 (B/C) = 3.9	・再生材の積極的利用 ・建設副産物の有効利用	再評価実施後5年が経過	継続
	現時点 H30	佐志川河川整備交付金事業(総合流域防災事業)	流路是正、狭窄部解消を行い、治水安全度を向上し、流域の浸水被害の軽減を図る。 ・計画流量 150m ³ /s ・計画治水安全度 1/30	全体事業費：C=48億円 工期：S58～H35 改修延長：L=2,900m 事業内容：掘削・築堤護岸、樋管14基、橋梁6基、堰2基	総原頭首工下流まで暫定掘削、暫定築堤、護岸が完了している。 佐志橋他5基完成 (H29末進捗率 87%) (年平均進捗率 2.6%)	(過去の災害実績) 同上 (地域の状況) 特になし	最新のマニュアルに基づき、費用対効果を算出した。 (B/C) = 4.3	同上	再評価実施後5年が経過	昭和60年洪水被害を軽減するため、流路是正、狭窄部解消を行い、治水安全度を向上し、地域住民の安心・安全を確保するためには、当事業の継続が必要である。
	理由等			漁業者との調整で、河道掘削の施工時期が制限されることによる工期の延長			前回再評価時と比較し、資産数量(世帯数)及び家屋評価単価の増加によりBが増大し、費用対効果(B/C)の増となった。			

